

学校 東雲 (しのめ)

だより



TEL 31-3170・31-3180 FAX 32-1130 http://www.hachinohe.ed.jp/higasi_j/

※東中学校の情報は、ホームページやブログでも公開しております。是非ご覧ください。

特集「少し元気の出る話」No.6～No.8

この学校だよりでは、行事ごとの記事や生徒の感想の合間に、「少し元気の出る話」と題して、ほのぼのとする話題や目立たないながらもいい話を紹介してきました。いわば、「メイン」となる記事のオマケのようなものでしたが、今回はその「オマケ」を特集してみました。

少し元気の出る話No.6 2週間ほど前の10月2日、東中学校を会場に、三八管内の道徳教育研究協議会が行われました。約60人ほどの先生が訪れ、奥寺美都子先生、増田美保子先生、宮重真由美先生の道徳の授業を参観しました。すべての先生が、「東中で道徳の授業を見てよかった」と感想を述べていましたが、その中に、生徒に関するもので次のようなものがありました。

- 全体を通して生徒も集中していて、素晴らしかったです。最後の親ごさんからの手紙を開く生徒達の表情が子どもらしくて良かったですし、涙ぐむ女子もいて、とても感動しました。
- しっとりと落ち着いた雰囲気の中で、友達の感想を聴いたりする場面があり、全員が授業に集中していました。
- 2年生の授業でしたが、最初と終わりのあいさつが大変素晴らしく、驚きました。

このほかにも、生徒のあいさつに言及したものがいくつかありました。あいさつに

関しては、最近同じような感想が2つ寄せられています。1つは、地域の方からの電話でした。「先月湊高台に引っ越してきたのだが、東中の生徒のあいさつが素晴らしく感心している。見ず知らずの私にも、積極的にあいさつをしてくれるので、本当にいい地域に引っ越してきたと思っている」というものでした。もう1つは、東中の初代校長であった佐々木英治先生のお話です。先週来校されたのですが、生徒のあいさつをさかんに褒めていました。東中は、開校当時から元気なあいさつを目指してきたそうですが、比較しても素晴らしいのだそうです。いずれも、生徒が自信と誇りを持って実行していることが、いろいろな人に認めてもらったということにおいてうれしいことだと思います。



各学年の授業風景



少し元気の出る話No.7

10月6日（土）と7日（日）の両日、「東公民館まつり」が開催されました。東中学校からも、20名ほどの生徒が依頼されてボランティアとして活躍しました。私も6日に行ってみたのですが、どの生徒も生き生きと活動していました。特に、玄関前のテントでは、3年生の澤田真吾君がトレパンを泥だらけにして大根の販売を行っていました。掘り出すところから手伝っているとのことでしたが、その屈託のない笑顔が大変印象的でした。澤田君に限らず、チョコバナナの販売や調理、食堂のウエイトレスなど、どの生徒も自ら積極的に関わっていました。後日、久保澤公民館長さんから、「大変助かった」という感謝の言葉をいただきました。学校としても、地域の中で、生徒が育まれていると感じた瞬間でした。私も、澤田君の大根を売る迫力に圧倒され、100円の大根を1本購入しました。54年間で、スーパー等を含め、初めて野菜を買ったことになります。澤田君のおかげで、貴重な体験もさせていただきました。



少し元気の出る話No.8

10月14日（日）の午前11時50分頃のことです。湊高台二丁目に住んでいる方から学校に電話がありました。「自分の体調が悪くて休んでいた。3歳の息子の世話を娘（姉）に頼んでいたところ、娘が目を離した隙にいなくなりました。家の目の前が市道で、交通量も多いので慌てて捜しに出たところ、東中の女子生徒二人に保護していただいた。もし、保護してもらわなかったら、きっと交通事故にあっていたと思う。二人の生徒さんには、本当に感謝している。その気持ちを知っていただきたく、電話をした。」という内容でした。生徒は2年生の立花桃香さんと若本めぐみさんでしたので、事情を聞いたところ、「二人で歩いていたら、パジャマ姿の小さい子どもが道路を歩いていたので、おかしいと思って話を聞いていたら、その子のお母さんが来てお礼を言われた。」ということでした。何げなく見過ごしていれば、その子どもに関わることもなかったのかもしれませんが、「何か変」だと思って行動したことが、感謝されることにつながったのだと思います。中学生として、地域の方々に助けられることの方が多くいわけですが、逆に地域に対して、何ができるか考えることも必要だと思います。それが、無意識のうちにできるようになればいいと思います。

立花桃香さん 「私は普段、地域の人達の役にあまり立つようなことはしていないので、今回迷子になっている子を保護したことで、その子のお母さんにも感謝されて、とてもうれしかったです。今後も、地域の役にたてたらいいなと思いました。」

若本めぐみさん 「私たちが自然にしたことが、男の子のお母さんに大変感謝されたことで、自分の子どもは自分の命くらい大切なんだということがわかりました。これからも、良いことをたくさんしていきたいと思いました。」

上記のいずれも、地域と東中との関わりの中で生まれた話です。地域の中で生徒が成長させていただいていることに感謝したいと思います。19日は桑山紀彦さんの教育講演会（9：45～11：30）、20日は前日祭（11：00～12：00）、21日は文化祭（8：30～14：40）となります。保護者の皆様も、ご近所の方々をお誘いのうえ、おいでください。お待ちしております。（文責：教頭 工藤聡）